

様式第1号 (第2条関係)

村営住宅入居申込書

受付番号	抽選番号

総合点	級別

申込区分	一般・特定・優先
------	----------

湯川村長  
村営住宅の入居の申し込みをいたします。

年 月 日

住所 \_\_\_\_\_ 電話 ( \_\_\_\_\_ )

氏名 \_\_\_\_\_ ① 明治昭和 年 月 日生

世帯構成	① 現在同居しており今後も同居する者							
	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	所得税法第2編第2章第1～3節より算出した所得金額	老人扶養親族・障害者・特別障害者 老年者・寡婦の別	控除額
	申込者							
員等	② 現在は別居しているが今後同居する者							
	続柄	氏名	年齢	職業	勤務先	所得税法第2編第2章第1～3節より算出した所得金額	老人扶養親族・障害者・特別障害者 老年者・寡婦の別	控除額
欄	③ 申込者又は同居親族の扶養親族又は控除対象配偶者で今後も別居となる者							
	続柄	氏名	年齢	職業	老人扶養親族・障害者・特別障害者の別			
月収欄	$\left( \left( \left( \quad + \quad \right) \right) - \left( \text{① (申込者を除く)} + \text{②} + \text{③} \right) \times \frac{\text{円}}{\text{円}} + \left( \text{老人扶養親族} \right) \times \frac{\text{円}}{\text{円}} + \left( \text{障害者} \right) \times \frac{\text{円}}{\text{円}} + \left( \text{特別障害者} \right) \times \frac{\text{円}}{\text{円}} + \left( \text{特別扶養親族} \right) \times \frac{\text{円}}{\text{円}} + \left( \text{老年者・寡婦・寡夫} \right) \times \frac{\text{円}}{\text{円}} \right) \div 12 = \quad \text{円}$							

主たる収入者の勤務先、所在地及び名称

受理 審査

## 誓 約 書

- 1 この申込書に記入した事項は、すべて事実と相違ないことを誓約いたします。  
 2 この申込書に虚偽の事実を記載した場合は、村営住宅入居申込みの無効処分または当選の失格処分をされても異議を申し立ていたしません。

年 月 日

氏名

㊟

申込者は、当所に勤務し、次のとおり相違ないことを証明する。  
 申込みの月の前月より過去1箇年分（※印の欄は記入しないこと。）

給 料	円
扶 養 手 当	円
超 勤 手 当	円
賞 与	円
そ の 他	円
合 計	円
※控 除 額	円
※所得金額	円

勤務所所在地

---

勤務所名称

---

電話 (      )

---

(使用者) 職場長

氏名

㊟

申込者の同居者は、当所に勤務し、次のとおり相違ないことを証明する。  
 申込みの月の前月より過去1箇年分（※印の欄は記入しないこと。）

給 料	円
扶 養 手 当	円
超 勤 手 当	円
賞 与	円
そ の 他	円
合 計	円
※控 除 額	円
※所得金額	円

勤務所所在地

---

勤務所名称

---

電話 (      )

---

(使用者) 職場長

氏名

㊟

申込者の同居予定者は、当所に勤務し、次のとおり相違ないことを証明する。  
 申込みの月の前月より過去1箇年分（※印の欄は記入しないこと。）

給 料	円
扶 養 手 当	円
超 勤 手 当	円
賞 与	円
そ の 他	円
合 計	円
※控 除 額	円
※所得金額	円

勤務所所在地

---

勤務所名称

---

電話 (      )

---

(使用者) 職場長

氏名

㊟

現在所案内図

最寄りの交通機関から申込者の現在所に至る案内図を記入して下さい。

## 困窮事項申告欄

### 1 不良住宅（住宅の不完全な事について）

申込者の住宅は、下の欄のどの項目に該当しますか。（該当する項目の符号を○でかこんでください。）

ア	住宅が倒壊するおそれがあり、その他危険な状態にある。	
イ	バラック建て住宅（応急的な仮設住宅で、使用材料が粗悪で極めて低質な建物をいう。）	
ウ	転用住宅（倉庫、物置等住宅以外の建物を転用している住宅をいう。）	
エ	生活環境（日照、悪習、騒音、湿気）	オ 上記のいずれにも該当しない。

### 2 生活上著しく不便（生活上設備の不便なことについて）

申込者の使用している炊事場、便所、給水の3設備は、専用のものですか。共同使用のものですか。

（下の欄に該当する項目の符号を○でかこんでください。）

ア	炊事場、便所、給水の3設備とも共用である。
イ	上記の3設備のうち2設備が共用である。
ウ	上記の3設備のうち1設備のみ共用である。
エ	上記のいずれにも該当しない。

### 3 別居（住宅がないため、別居していることについて）

申込者と同一の生計をいとなむ必要があるが、住宅がないために別居している人がある場合、又は婚姻予約者のある場合には、下の欄の該当する項目の符号を○でかこんでください。

ア	住宅がないため妻若しくは夫又は、子と別居している。
イ	住宅がないため扶養を要する親又は、弟妹と別居している。
ウ	婚姻が成立しているが、住宅がないため結婚できない。
エ	上記のいずれにも該当しない。

〔注意〕 この項目に該当する場合は、この申込書第1ページの世帯構成員欄の②「現在は別居しているが実際に同居する世帯員」の項に別居者の氏名等を記入してください。

### 4 過密居住（住宅の狭いことについて）

現に居住している部屋は、何室ですか。（該当する欄を○でかこんでください。）

ア	1室	イ	2室	ウ	3室以上
---	----	---	----	---	------

現在の世帯人員は何人ですか。  人

畳数の合計は何畳ですか。（板の間の部屋は、畳数になおして合計して下さい。家具等の多少は、関係ありません。）  畳

上記の計算の結果、下の欄のどの項目に該当しますか。該当する項目の符号を○でかこんでください。

ア	イ	ウ	エ	オ	カ
1人当たり1.3畳以内	1人当たり1.6畳以内	1人当たり2.0畳以内	1人当たり2.0畳をこえているが、15才以上の者が3人以上で1室居住	1人当たり2.0畳をこえているが、15才未満の者を含む3人以上で1室居住	左記のいずれにも該当しない。

**5 立退要求 (明渡しを請求されていることについて)**

申込者が現に居住している居住について立退問題がある場合は、それが下の欄のどの項目に該当しておりますか。(該当する項目の符号を○でかこんでください。)

下の欄のアとウは、立退問題が裁判上(又は簡易裁判所における調停事件として)あらそいになっている場合に限りますから、注意して下さい。

ア	裁判上の判決、和解又は調停の成立により明渡しが決定済	裁判のあった日又は和解、調停の成立した日	年 月 日
イ	停年退職、会社解散等のどの自己の都合以外の理由により社宅等から立ち退くことが必要である。	会社等所在地	
		会社等の名称	
		停年退職、会社解散等の年月日	年 月 日
		管轄裁判所名	裁判所
ウ	立退問題につき裁判等係争中	立退要求の内容	
エ	立退きを要求されている。	上記に対してとらうとしている措置	
オ	上記のいずれにも該当しない。		

**6 遠距離通勤 (通勤時間・通勤距離)**

世帯の主たる収入者の通勤時間又は、通勤距離は、右の欄でどの項目に該当しますか。(該当する項目の符号を○でかこんでください。)

通勤時間とは、徒歩、乗物をあわせた通常の通勤方法による平均所要時間をさします。

ア	通勤時間が1時間以上である。
イ	通勤距離の片道が10km以上である。
ウ	上記のいずれにも該当しない。

**7 過大住居費 (家賃が高いことについて)**

現に居住している住宅の家賃又は間代は、いくらですか。

円

ア	家賃月額が月収の3割以上
イ	家賃月額が月収の2割5分以上3割未満
ウ	家賃月額が月収の2割以上2割5分未満
エ	家賃月額が月収の1割5分以上2割未満

**8 町営住宅の入居申込回数**

町営住宅の入居について過去に何回申し込まれましたか。(右の欄の符号を○でかこんでください。)

ア	イ	ウ	エ
3回以上	2回	1回	今回初めて
年 年 年	年 年	年	

**9 特殊事情者**

(該当する項目の符号を○でかこんでください。)

ア	イ	ウ	エ
老人同居70歳以上	母子家庭	寡婦	一室を必要とする長期療養者がいる

平成 年 月 日

湯川村長 様

## 誓 約 書

私は、村営住宅申込に伴い、下記の【入居者の資格】に該当していることを誓約します。

### 記

#### 【入居者の資格】

- (1) 現に同居し、又は同居しようとする親族があること。
- (2) 公営住宅法施行令に定める収入基準に適合していること。
- (3) 現に住宅に困窮していることが明らかな者であること。
- (4) 国税及び地方税を滞納していない者であること。
- (5) 暴力団員（暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成三年法律第七十七号）第二条第六号に規定する暴力団員をいう。）でないこと。

※ (2) については申込者本人及び同居する親族全員の収入金額が対象  
(3) ~ (5) については、申込者本人及び同居する親族全員が対象

また、入居資格審査にあたり、私が提出した書類の内容について関係機関へ照会する必要が生じた場合、関係機関へ照会することに同意します。

村営住宅入居申込者

住所 \_\_\_\_\_

氏名 \_\_\_\_\_